

平成29年度 長岡サポステ 講演会を開催しました！

9月30日（土）、長岡市さいわいプラザ4階大ホールにて、「どんな境遇にある若者も見捨てない」と題して市民向け講演会を開催いたしました。就労に悩む若者やご家族、関係機関の方々など、100名を超える来場者で会場が埋め尽くされ大盛況でした。

本号で講演会の内容をお伝えします。

講師紹介



谷口 仁史 氏

- 特定非営利活動法人「NPO スチューデント・サポート・フェイス (S.S.F.)」代表理事
- さが若者サポートステーション前総括コーディネーター

NHKプロフェッショナル仕事の流儀 第275回 平成27年8月31日放送「寄り添うのは、傷だらけの希望」出演

1976年、佐賀県武雄市出身。佐賀大学文化教育学部在学中からボランティアで不登校やネットへの訪問支援(アウトリーチ)に取り組む。大学卒業後、大学教授などの有志を募り「NPO スチューデント・サポート・フェイス (S.S.F.)」を設立。相談活動、アウトリーチ活動に携わる他、市民活動団体を含む幅広い支援機関とのネットワーク構築、「職親制度」等社会的受け皿の創出、執筆や講演活動など、多彩な活動を精力的に行っている。

第1部 講演

「どんな環境にある若者も見捨てない！」



前半は、佐賀県の若者支援の現状や谷口様が設立されたS.S.F.の取組についてお話いただきました。

●今後の支援のあり方を考える上での視点

- ①当事者の自発的行動が前提 → 「来ることを待つ」では、支援が必要な若者にアプローチできていないのでは？
- ②抱える問題の深刻化かつ複雑化 → これまでの環境問題の解消も含め、積極的かつ直接的な支援が必要なのは？
- ③複数の公的支援を受けながらも自立が達成されない → 社会参加・自立まで責任を持って見届けられる体制が必要なのではないか？

●「安心」と「希望」を！「つながり」の中で支えるために必要な視点

- ①節度ある「受容」、誠意を持って「受け止める」 *一番大切な親だからこそ話せないこともある。*
- ②「積極的」な「待ち」の姿勢 *保護者がストレスを抱え込みすぎない。*
- ③「つながる」・「つなげる」力 *親子の絆、身近な存在だからこそ逆に見えないものもある。*

後半は、事例を交え、トレーニングメニューについてご紹介いただきました。

●オーダーメイドの個別プログラム

事例：人目の少ない夜間に夜釣り *本人が「楽しい」と思える興味関心に沿った内容*

●集団活動へ向けての1歩

事例：似た経験を持つ先輩宅に宿泊 *「楽しみながら」の原則*

●「興味関心」から「実用的プログラムへ」

事例：農業体験 *自分を認める、他者を受け入れ他者や社会とのつながりを感じる*



第2部

長岡サポステ紹介・質疑応答

長岡サポステで行っている支援内容や支援の流れをご紹介しました。相談・プログラム活動・職場実習を実施し、一人一人に適した就職のお手伝いをしています。就労に向けてどんな取組を行って行けばいいのかを一緒に考え計画を立て、プログラムや職場実習にご参加いただきます。プログラムは、働く準備として、就活セミナー、コミュニケーショントレーニング等を行っています。職場実習は、実際に働く体験として企業に伺い、封入・シール貼り・ピッキング・清掃等を行っています。

最後に、卒業生からいただいたメッセージをお伝えしました。

質疑応答では、沢山の質問をいただきました。谷口様ご自身に関する質問や若者、保護者、支援機関別にそれぞれの立場へのアプローチをご回答いただきました。



長岡サポステ講演会 参加者の声

【若者から】

- 谷口さんのような見捨てずにサポートしてくれる人達に感謝していきたいと思いました。
- 自分は空白の期間が14年くらいあるので、今回の講演は非常に参考になりました。
- 自立支援自体は多くの団体がやっているが、バラバラな対応ではなく情報を共有して一人一人あった支援をすることが大事だと思いました。
- それまで個別だった支援（機関）をつなげて情報を共有することで、その人に合ったサポートができるようになった過程が興味深かった。
- 行政や関係機関と連携した取組事例は分からない部分も多かったが勉強になった。SSFの考え方を説明いただき、なるほどと思う部分を得ることができた。話は難しかったが、学ぶべきことは多い内容だったと思う。

【ご家族から】

- 一人も見捨てない姿勢がひしひしと感じられ、すばらしい講演でした。
- 講師の先生のパワーがすごいと思いました。本人だけでなく、家族を支えていくことが本人の自立へとつながると思いました。心の底にある苦しみをよく聴いて、しっかりと伴走して、いろいろな方々が連携している取組は助かると思いました。
- 当事者の家族として参加させていただきました。なかなか出口の見い出せない我が家でしたが、谷口様のお話を聞いて、ここまで一人一人に対して真摯に向き合っている方がいらっしゃるんだなと思うと、本当に明日からの生きる希望がもてました。
- こんなに寄り添った活動に感動しました。人生は出会った人で大きく左右されると改めて思いました。この取組を全国に広げてほしいです。
- とても重い事例が多かったが、若者だけではなく家族のサポートまでしていらっしゃっていて、すばらしい活動をされていることを聞いて良かったです。

【若者支援機関、関連機関の方から】

- 目の前の困難な出来事には必ず理由があり、そういった視点での相談支援が必要であることを学ぶことができた。
- 家族まるごと支援が必要なケースへの対応がすばらしかったです。少子化の時代、支援の手はたくさんありそうなのに…若者の自殺が多く、うまく支援がまわっていないことに気づきました。
- 本当の支援とは何かを考えさせられました。若者、子供の人生が大きく変わると思いました。
- 素晴らしい取組の内容で、大変感動致しました。谷口さんのような活動が全国的に広がっていくことを望んでいます。孤立している若者が待っているのだろうなと感じています。
- 支援する側（企業）として、今まで見えていなかった部分を知ることが出来た事で、今まで以上にサポートに対する意識が強くなった事と、協力の必要性を感じた。

ご協力ありがとうございました！



プログラム紹介 ～総合活動～ So, Go!

サポステでは、就活のための様々なプログラムを実施しています。総合活動では、ボランティア活動や軽作業等を通して働く意欲を高めることを目的としています。



古紙結束



クリーン作戦



封入作業



ハーブ手入れ

参加者の声

- 作業を通して、他の人と協力したり、コミュニケーションが取れたりできるのが良いところだと思います。
- 毎回色々な活動があって、ためになります。就職につなげられるように続けて行きたいです。
- 単純作業が多い。日によってやることが変わるので、色々なことを知ることができる。
- 作業は簡単なものですが、受け渡しの一言を自然に言える練習になるので、これからも参加したいと思います。

H29 年度 長岡サポステ 利用状況

(H29 年 10 月末現在)

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	合計
登録者数 及び 利用者数	登録者数(H25～)	797	816	835	848	855	868	875	/
	利用者数	237	245	257	247	246	245	230	
	新規登録者数	19	19	19	13	7	13	7	
就職 (週 20 時間以上で 30 日以上の雇用)	就職決定者合数 (人)	9	4	14	8	5	16	12	68
	うち 正規就職(人)	0	1	4	3	1	5	4	18
	うち 非正規(人)	9	3	10	5	4	11	8	50
その他進路決定者(短期、短時間、職業訓練など)		1	1	3	3	4	1	3	17
月別相談件数 (電話・メールを含む)	相談延数 (件)	183	236	269	206	220	183	207	1504
	定着ステップアップ相談延数 (件)	36	26	34	34	47	28	38	243
セミナー等 プログラム	実施回数(回)	34	37	42	36	36	31	31	247
	参加者延人数(人)	147	222	258	191	192	217	222	1449